

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和4年 3月 22日

事業所名 多機能型事業所リズム 保護者等数(児童数) 47 回収数 34 割合 72%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	33	1			・本人の活動スペースもあり落ち着けて過ごせていると思います。	室内だけでなく、学習室、スイミングスクール、学童VI-VAや中庭など色々な場所で活動や遊びができるようにしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	31	3			・専門性のある職員で安心しています。 ・スタッフの専門性がわからない。 ・わからない。	10名定員に対し児発管1名と指導員2名の配置が基準となっておりますが、多様な活動と目の届く支援を行うために人員を多く配置しています。教員免許状保持・基礎水泳指導資格者・公認心理師などの資格者が在籍しています。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	30	4			・階段上は手すりから子どもが落ちないように工夫されていると思います。 ・わからない。	事業所が2階にあるため、階段に手すりを設置しております。歩行に支援が必要なお子様には、必ず職員が随伴し安全に上り下りができるようにしています。同じフロアにあるデイサービス側にエレベーターがあるので、そちらを利用することもあります。室内は段差がないようにスロープにしています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	33	1			・本人の成長にあった内容を活かしていると思います。	フェイスシートを活用したり、面談や担当者会議を開催したりして、お子様の状況とニーズを踏まえた適切な計画を作成できるように努めています。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	32	2			・普段できない体験をさせてもらっているので満足です。 ・スペース内で工夫された活動もあり、本人は満足していると思います。 ・今年こそはお泊り会があると嬉しいです。	ガイドラインに基づいた活動を複数組み合わせ、プログラムを作成しています。また、様々な場所、人、物との出会いによって豊かな経験と情操を育めるようにイベントを企画しています。 コロナ感染の観点から出ていないイベント(お泊り会など)の再開も今後考えています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	24	8	1	1	・コロナの状況があるので、交流会などは控えられているため。 ・わからない。	新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、学童クラブVI-VAと夏休みのイベントやハロウィン、クリスマス会を合同で行いました。感染症次第ではありますが、今後更に増やしていきたいです。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	34					契約時にご理解いただけるように説明をしています。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	33		1		・毎回のお迎えの時分かりやすく今日の状況が伝えられるので安心です。	連絡ノートや電話、LINE、送迎時の引き継ぎなどで情報共有を続けていきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	27	6	1		・コロナ禍なので面談は難しいが、子どもの様子は連絡帳で確認している。 ・おたより帳でアドバイスいただいています。 ・本人の活動で新しい発見があると分かりやすく伝えられているので安心です。 ・コロナの状況があるので、面談など感染リスクのあるイベントは控えられている。	新型コロナウイルス感染予防のため対面での面談は難しいですが、電話等で行うようにしています。連絡ノートなどでリズムでの様子をお伝えできるように努めています。ご心配なことがありましたらお気軽にお知らせください。
10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	15	6	1	・コロナ禍なので保護者会など難しいと思います。 ・コロナ状況の中なので、今は保護者同士の交流は難しいと思っています。 ・コロナがあるので、やらない方がいい。 ・コロナ禍でなかなかできていませんね…残念 ・コロナの状況があるので、面談など感染リスクのあるイベントは控えられている。 ・コロナの時期なので…	前年度に続き今年度も、新型コロナウイルスの感染予防の観点と休校や分散登校に対応するため、保護者会を開催することができず申し訳ありません。新型コロナウイルスの状況を見ながら開催を検討していきます。	

	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	27	6	1	・特に苦情がないのでわからない。	迅速かつ適切に対応するよう心がけています。些細なことでも気になることがありましたら、どうぞご連絡ください。	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	2			連絡ノート・LINE・電話での情報共有するようにしています。また、お子様の活動の様子やリズムでの表情を写真などで伝え、安心していただけるようにしています。	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	1	1		リズム便りやお手紙で、行事予定や活動の様子を発信しています。ホームページには、これまでの自己評価と活動の様子も掲載しております。ぜひご覧になってください。	
	14	個人情報に十分注意しているか	33	1			鍵付きの書庫に個人情報を保管し、取扱いの注意を全職員が徹底するようにしています。	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	5	1	・外に避難する時は、どこか決められていますか？ ・保護者は知らないのですが、本人は理解できているよう。	駐車場を第1避難場所とし、状況に応じて北丘児童館、北丘小学校へ避難するようにしています。保護者の皆様とも共有できるようにいたします。	
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	5		・わからない	年2回避難訓練を行っています。今年度は11月に「防災週間」を設定し、すべてのお子様が発災の方法を身につけられるようレク活動として訓練を実施しました。	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	33			1	・とても楽しみにしている。欠席なし。 ・毎回絵カードを利用して明日の予定を理解しているため、毎回を楽しみにしています。	お子様一人ひとりにとっての“安心して楽しめる場所”となれるよう、これからも職員一丸となって取り組んでまいります。
	18	事業所の支援に満足しているか	34				・大満足 ・本人にあった活動やいっぱい発散できる活動があるので満足しています。 ・いつも丁寧な関わりありがとうございます。	お子様にとって必要な支援と様々な活動を提供できるように取り組んでまいります。たくさんのご意見ありがとうございました。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所職員向

(ビッグリズム) 放課後等デイサービス自己評価

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	9				リズム室内だけでなく、学習室・スイミングスクール・学童VI-VAなど、活動に適した場所を活用するようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	2			基準より多くの職員を配置し、細やかな支援を心がけている。曜日によっては、もっと個別に支援をしてあげたいと思うこともある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1			事業所が2階にあるため、階段に手すりを設置している。安全に上り下りができるよう職員が同行している。段差でつまずくことがないよう、気をつ
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8	1			毎日のミーティング・ふりかえり、月に1回以上の拡大ミーティングなど職員同士が話し合う時間を確保し、業務を進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9				昨年度の保護者様からの評価を基に業務の改善を行った。次年度もよりよい支援と運営を行うために、頂いた評価を基に改善する。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9				自己評価の結果は、ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	4	2		第三者評価事業は活用していない。連携できる外部パートナーを探したい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9				事業所内で研修を実施している。テーマは職員の意見を聞いて決定している。また、講師を招いた研修を行ったり、外部での研修も受講できるようにシフトの調整をしている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	2			標準化されたアセスメントツール(フェイスシート)を活用している。年に1回保護者に見直しをしてもらい、今後の支援につなげている。公認心理師が計画に携わっている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	3			標準化されたアセスメントツールを使っている。お子様の成長が感じられるようなツールを模索している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	2			週ごとに活動の責任者を決め、責任者が中心となってアイデアを出し合って決定している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9				複数のプログラムを準備し、お子様自身が選択し決定できるようにしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9				利用時間や個別の発達に応じて、課題を設定し、支援をしている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9				個別活動では、個々の発達課題に応じたものを、集団活動では、社会性やコミュニケーション能力、勝ち負けを受け入れたり気持ちを切り替えたりする力を育むことをねらいにして計画して行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2			毎日実施している。また、打ち合わせ内容を職員用ホワイトボードに書き残すことで、いつでも確認できるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	3			毎日振り返りを実施している。また、日報の中で個々人の記録を書き残すことで、いつでも確認できるようにしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1			日報を複数の職員が記録することで、支援の検証・改善につなげている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9				定期的にモニタリングを行い、計画の見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	9				お子様が活動を選択して決定することで、自己決定力を高めることができるように複数の活動を準備している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9				児童発達管理責任者が参加している。必要な情報を他の職員に周知し、記録していつでも見ることができるようにしている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6	3			一部の学校からは直接行事や下校時刻の情報をもらうことができているが、多くは保護者を通して情報を得ている。下校時刻の変更や休校・分散登校が多く、トラブルを防ぐため、LINEで下校時刻確認をしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5		1	3	現在、在籍していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			2	併設の児童発達支援から継続しての利用が大部分なので、情報共有と相互理解は日常的にできている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	2		4	提供する準備はしているが、求められたことはない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	6		オンライン研修を受けている職員がいる。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9				新型コロナウイルス感染対策を行い、併設している学童クラブと合同イベントを実施している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4		2	3	「令和3年度南風原町障害者週間実行委員会」のメンバーとして職員が活動した。子どもたちは、委員会が主催したイベントに参加した。地域自立支援協議会は開催されているのか情報をつかめていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1			活動の様子を連絡ノートや電話、LINEなどで日常的に伝え合い、共通理解をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	5	2		休校や分散登校などで朝から子どもたちが利用している状況が続き、ペアレント・トレーニング等をする会を開催することが困難だった。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9				契約時に書面を読み上げながら、説明を行っている。また、必要に応じて適宜行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	1			連絡ノートや電話を活用し支援をしている。希望する保護者とは、面談の機会を設けている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	6		休校や分散登校などで朝からお子様を利用している状況が続き、保護者会等を開催することが困難だった。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9				お子様や保護者様からの問い合わせがあった場合には、事実をすぐに確認し、迅速かつ適切に対応するよう努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9				リズム便りを毎月発行している。必要に応じて手紙やLINEも活用してお知らせしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	9				書類は、鍵の閉まる書庫に保管している。写真などの公開については、保護者の同意を得ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9				文書・電話・LINEと様々な手段を使って意思の疎通や情報伝達を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3		6		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施をしなかった。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7	2			職員で共有している。保護者へ周知できるように説明していく。訓練の様子は、リズム便りでお知らせをした。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9				避難訓練を定期的に実施している。建物管理会社による訓練も行った。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1	1		虐待防止委員会を設置している。また、日常的に子どもとの関わりについてふりかえりを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1			行っていない。身体拘束やむを得ない事態が発生した時のマニュアルは策定している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1			保護者様に確認をし指示を受けている。アレルギー配慮児については、一覧にして全職員が把握するようにしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9				ささいなことでも記録を残している。それを基に事例集を作成し、共有している。